新幹線プレス

2025 年 5 月 1 日 | No.701

発行者 伊 藤 一 也

編集者 教 宣 部

ＪＲ東海労新幹線地本

車両所の悪臭解消・休日出勤解消を求める

経営協議会報告

４月１１日の経営協議会報告その２です。車両所関係の問題点として悪臭・私傷病増大・休日出勤について解消をもとめました。主なやりとりを報告します。

■車両所の悪臭について

組合：排水や臭いの原因の調査はどの位のスパンでやっているのか。

会社：汚水桝の調査は数か月一回はやっている。

組合：汚水桝に鉛やカドミウムが入ってくる原因は何か。

会社：まだわからない。行政と話をしながら、車体洗浄の水は側溝に流す対策をしている。

組合：重金属はどこから出てくるのか。

会社：調査結果は車体洗浄した洗浄液から出てきている。洗浄剤ではないがどこからか不明。

組合：臭いのもとは何処か。

会社：臭いのもとは、車体洗浄の薬液ではという話もあり変えたらどうか検討している。

組合：一昨年から急に臭くなった。衛生上問題があるのでしっかりやってほしい。

■休日出勤について

組合：休日出勤が発生している、適正な要員を配置していてなんで休日出勤が発生するのか。

会社：業務の繁閑ということがある。一時的に休日買い上げが出てくる時期もある。

会社：修繕所は構内操縦の育成などがあり、育成が完了した以降は出ていないはず。

組合：仕業は１２月以降、頻繁に各パートで休日出勤が発生してきていて、新年度になったらないだろうと思っていたが、４月の勤務でも数人に休日出勤が発生している。

会社：新入社員が入って交番検査に行って一本になり、そこで玉突きではないか。

組合：そこを含めて計画を立てるのではないか。

会社：ピークで要因を貼っているわけではないので。

組合：東仕両は数十年このような状況は無かった、今年度退職する人の補充をどうするのかが全然見えてこない。

会社：会社も把握していますのでそれに合した要員は充てていく。

組合：いつまでこの状態は続くのですか。

会社：今の段階で示せない。

組合：車両所の要員はピーク、毎日決められた人数でやっているので波動だとかないのでは。何処で解消されるのか確約が無いとずうっとこうなるのか。

会社：業務の繁閑の中で年度初が暇かというと、そのようなことは無いわけで、休日買い上げイコール要員が足らないとはならないと考えている。

組合：ちゃんと直してもらわないといけない。

会社：現場と密にコミュニケーションとりながら要員の配置を処置していきたい。